

ブレーキブリーダー用アタッチメント（ABX70-F1,F2,G1,G2,G3,H1）取扱説明書

この度は **KTC** ブレーキブリーダー用アタッチメントをご購入頂きありがとうございます。本製品をより安全により適切にご使用して頂く為に、取扱説明書をご使用前に必ずお読み下さい。
（この取扱説明書は製品と一緒に保管して下さい）

本製品は、KTCブレーキブリーダー（ABX70）でブレーキ液の圧送を行うための、リザーバタンク側の専用アタッチメントです。

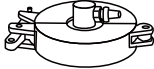
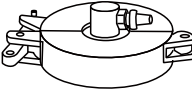
取扱上の注意



注意

- ・ブレーキの作業手順は、各自動車メーカーの整備指示書等に基づき正しく行って下さい。
- ・ブレーキブリーダー（ABX70）でのブレーキ液の圧送以外には使用しないで下さい。
- ・ブレーキブリーダーの作業手順は、専用の取扱説明書をご参照下さい。
- ・アタッチメントの取外し、取替えは、ブレーキブリーダーの残圧を除去してから行って下さい。
- ・製品又は作業対象部品に亀裂、変形等が認められる場合は、使用しないで下さい。
- ・圧送作業中にブレーキ液漏れ等が発生した場合、直ちに作業を中止して下さい。
- ・環境温度5℃～40℃で使用して下さい。
- ・リザーバタンクへ取付後のアタッチメントには、外力を加えないで下さい。
- ・圧送中はホース等を引っ張らないで下さい。
- ・ブレーキ液がこぼれた場合、布等で素早く拭き取り水洗いして下さい。
- ・破損の原因となりますので、衝撃を加える等の行為は行わないで下さい。
- ・分解や改造をしないで下さい。
- ・クランプ ASSY とシールキャップ ASSY は必ず同品番の組み合わせでのご使用下さい。（ABX70-G2・G3）

適用

品番	ABX70-F1	ABX70-F2	ABX70-G1	ABX70-G2	ABX70-G3	ABX70-H1
適用	マツダ車の リザーバタンク 内径 36mm	ダイハツ車の リザーバタンク 内径 60mm	トヨタ車の リザーバタンク 内径 42.5mm	ホンダ車の リザーバタンク 内径 56mm	ダイハツ車の リザーバタンク 内径 54mm	ホンダ車の リザーバタンク 内径 75mm
形状						
備考			シールキャップ ASSY（次ページ図2 参照）＋クランプ E1（ABX70に付属）の使用も可能です。	マスターシリンダとリザーバタンクをホースバンドで固定しているタイプは、シールキャップ ASSY＋クランプ E1を使用してください。	マスターシリンダとリザーバタンクをホースバンドで固定しているタイプは、シールキャップ ASSY＋クランプ E1を使用してください。（誤使用防止ワイヤー付き）	

作業方法

ABX70-F1, ABX70-F2

- ① リザーバタンクのキャップ、ストレーナー等を取外して下さい。
- ② アタッチメントをリザーバタンクのキャップと同様、回しながら締め込んで下さい。（図1）
 - （注） 締付け途中で少し固くなる事がありますが、その段階で止めずに締切して下さい。途中で止めますとOリングがリザーバタンク内に密着されず、ブレーキ液が漏れる恐れがあります。
- ③ ブレーキブリーダー（ABX70）のカブラを接続し、ブレーキ液を圧送します。
 - （注） カブラ同士は真っ直ぐに差し込んで下さい。斜めに差し込むと先にロックがかかってしまい取付ける事ができません。
 - （注） カブラのロックが正しく取付いているか、ソケットカブラを軽く引っ張って確認して下さい。取付けが不十分ですと、圧送時にブレーキ液が飛散します。
 - （注） 圧送後に、ブレーキ液のしみ、漏れ等が発生した場合は即時に圧送を中止し、アタッチメントの取付けをやり直して下さい。

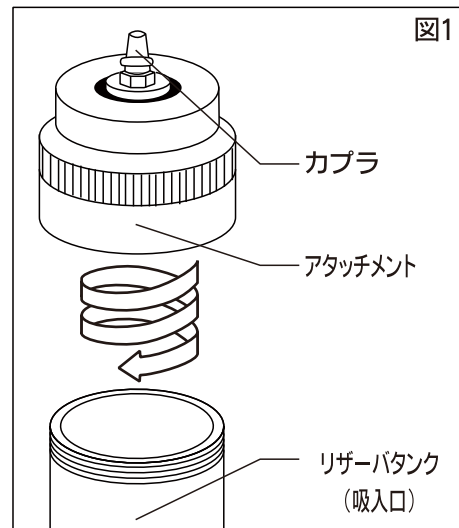
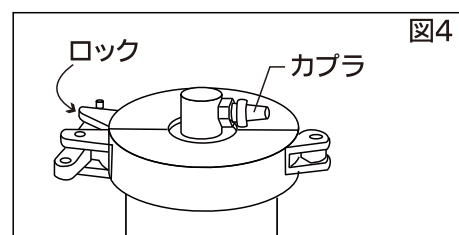
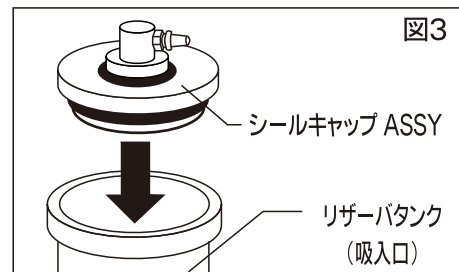
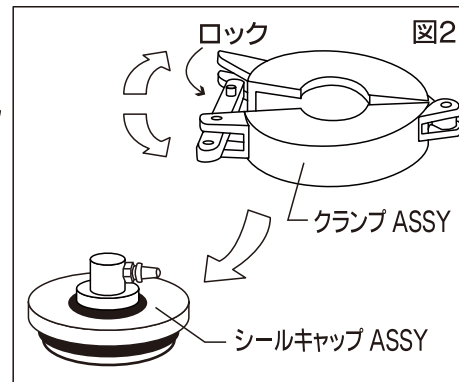


図1

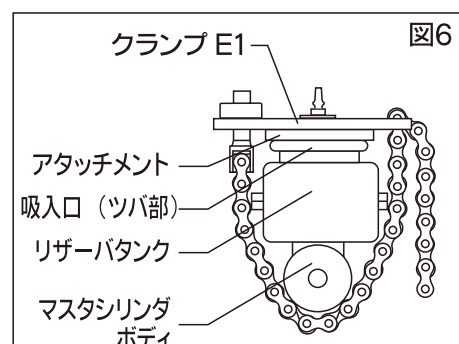
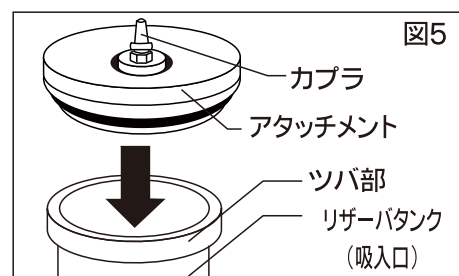
ABX70-G1, ABX70-G2, ABX70-G3

- ① リザーバタンクのキャップ、ストレーナー等を取外して下さい。
- ② アタッチメントのクランプ ASSY のロックを外し、左右に開いてシールキャップ ASSY を取り出します。(図2)
- ③ シールキャップ ASSY をリザーバタンク給入口内に押し込みます。(図3)
(注) シールキャップ ASSY とリザーバタンクのツバ部に、隙間が無くなるまで均等に押し込んで下さい。
- ④ シールキャップの上からクランプ ASSY を取付けます。(図4)
(注) クランプ ASSY がリザーバタンクのツバ部に、左右均等に引っ掛かっている事を上下に動かし、確認して下さい。
(注) クランプ ASSY のロックは、確実に行って下さい。
- ⑤ ブレーキブリーダー (ABX70) のカプラを接続しブレーキ液を 圧送します。
(注) カプラ同士は真っ直ぐに差し込んで下さい。斜めに差し込むと先にロックがかかってしまい取付ける事ができません。
(注) カプラのロックが正しく取付いているか、ソケットカプラを軽く引っ張って確認して下さい。
(注) 圧を掛けた時シール部が上へ動きますが問題ありません。
(注) 圧を掛けた時クランプのギャップ分が上へ動きますが問題ありません。
(注) シール部が動く分、液面が上がるので、作業後に液面レベルを調整して下さい。
(注) 取付けが不十分ですと、圧送時にブレーキ液が飛散します。
(注) 圧送後に、ブレーキ液の滲み、漏れ等が発生した場合は即時に圧送を中止し、アタッチメントの取付けをやり直して下さい。
(注) クランプ ASSY とシールキャップ ASSY は必ず同品番の組み合わせでご使用下さい。異なった品番を組み合わせた場合、クランプが外れ、ブレーキ液が飛散することがあります。(ABX70-G3 は ABX70-G2 との誤使用防止ワイヤー付き)



ABX70-H1

- ① リザーバタンクのキャップ、ストレーナー等を取外して下さい。
- ② アタッチメントをリザーバタンク給入口内に押し込みます。(図5)
(注) アタッチメントとリザーバタンクのツバ部に、隙間が無くなるまで均等に押し込んで下さい。
- ③ アタッチメントの上からブレーキブリーダー (ABX70) に付属のクランプ E1 を取付けます。(図6)
(注) クランプ E1 の取付け方法はブレーキブリーダーの取扱説明書をご参照下さい。
(注) チェーンを掛ける際、付近の配線や配管等の部品と一緒に掛けないで下さい。
(注) チェーンはマスタシリンダボディ下 (金属部分) を通して掛けて下さい。
- ④ ブレーキブリーダー (ABX70) のカプラを接続し、ブレーキ液を圧送します。
(注) カプラ同士は真っ直ぐに差し込んで下さい。斜めに差し込むと先にロックがかかってしまい取付ける事ができません。
(注) カプラのロックが正しく取付いているか、ソケットカプラを軽く引っ張って確認して下さい。
(注) 圧を掛けた時シール部が上へ動きますが問題ありません。
(注) シール部が動く分、液面が上がるので、作業後に液面レベルを調整して下さい。
(注) 取付けが不十分ですと、圧送時にブレーキ液が飛散します。
(注) 圧送後に、ブレーキ液の滲み、漏れ等が発生した場合は即時に圧送を中止し、アタッチメントの取付けをやり直して下さい。



保守・保管

- ・製品はきれいな布でブレーキ液等を拭き取り保管してください。
- ・アタッチメントケースがある場合、他のアタッチメントと同様ケース内に保管してください。

製造国：日本国 販売者の名称・所在地：京都機械工具株式会社 〒613-0034 京都府久世郡久御山町佐山新開地128番地

本製品の問い合わせは、お客様窓口又は最寄りの下記営業所までお寄せ下さい。

お客様窓口(ものづくり/お客様センター)
受付時間：9:00～12:00/13:00～17:00
(土・日・弊社休業日除く)
TEL:0774-46-4159
FAX:0774-46-4359
Email:support@kyototool.co.jp
URL:http://www.kyototool.co.jp/

支店 TEL/東京 03(3752)2261/名古屋 052(882)6671/近畿 0774(46)3711
営業所 TEL/札幌 011(824)0765/仙台 022(231)6322/金沢 076(291)4546/広島 082(273)0202
/四国 087(869)4474/福岡 092(441)5637

※仕様及び外観は改良の為予告なく変更することがあります。

No. 98-001-1. 05. 10. 1000. KTC